

第1回 健康づくり推進協議会

開催日時 及び場所	令和5年12月15日(金) 午後1時00分から2時30分まで 白馬村役場 201・202 会議室					
出席者	職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
	大北医師会	栗田裕二	出	白馬村保健補 導委員長	長澤草子	出
	大北歯科医師 会	柏原政信	出	白馬村シニア クラブ連合会	横川義男	出
	白馬村議会	増井春美	出	白馬村スポー ツ協会 会長	山岸 忠	出
	大町保健所健 康づくり支援 課	大久保初恵	出	長野県栄養士 会 栄養ケア ステーション	田中 みつる	出
	白馬村教育委 員会事務局 子育て支援課 課長	内山 明子 代理 飯森可奈子 母子健康 係 長	欠 出	公募委員	山里 鈴子	出
	白馬村健康福 祉課 課長	工藤弘美	出	公募委員	前田千恵	出
説明者	事務局	健康づくり係長 稲垣 まゆき		健康づくり係 畔上 瑞季 健康づくり係 横川 友美		
要旨	<p>開会(午後1時00分) ・事務局が、開会を宣言した</p> <p>1. 健康福祉課長あいさつ ・健康福祉課長が委員の就任と出席に感謝し、コロナの5類移行、インフルエンザの流行など健康に係るトピックに触れた。第2期の計画評価にあたり、本村の健康増進の充実について、委員から普段の活動や体験等から感じる意見を頂きながら、健康寿命の延伸、地域や社会情勢に起因する健康格差の縮小、生活習慣病の予防に重点を当てた評価を検証していきたい旨を述べ、策定に対する協力をお願いした</p> <p>2. 委嘱書交付 ・事務局が、あらかじめ配布した委嘱書の確認をお願いし、任期が本日から2年間であることを申し添えた</p> <p>3. 委員及び事務局職員の紹介 ・出席委員及び事務局職員が、所属と氏名をそれぞれ自己紹介した ・事務局が、委員の所属と氏名を紹介した</p> <p>・本日の出席委員は委員全員が出席しており、委員の過半数が出席しているため会議が成立することを報告した</p>					

・事務局が、会議資料の確認をお願いした

#### 4. 会長及び副会長の選任

・事務局（案）により、会長に白馬村スポーツ協会会長 山岸忠委員を、副会長に大北医師会 栗田裕二委員を、それぞれ委員に同意いただき、選任した

#### 5. 会議運営に関する確認事項

- ・会長が、この事項に関する説明を事務局に求めた
- ・事務局は、（資料3）会議運営に関する確認事項により、この事項について説明し、委員に確認をお願いした
- ・会長が、事務局の説明について質疑を求めたところ、委員からの質疑はなかった
- ・会長が、この資料に基づいて会議を運営することについて委員に同意を求めたところ、全員が同意した

#### 6. 協議事項

##### (1) 現行計画の評価について

- ・会長が、この事項に関する説明を事務局に求めた
- ・事務局は、（資料4）第2期白馬村健康増進計画（平成25年度～令和4年度）の目標達成状況及び評価により、この事項について説明した
- ・会長が、事務局の説明について質疑を求めた
- ・栗田副会長が、資料6ページC「変化なし」の数値が、次ページ表と違うことについて指摘し、どちらが正しいか質問した
- ・事務局は、7ページの7.5パーセントが正しいと回答した
- ・会長が、他に質疑を求めたが、委員からの質疑はなかったため、この事項に関する協議を終了した

##### (2) 次期計画の策定について

- ・会長が、この事項に関する説明を事務局に求めた
- ・事務局は、（資料5）次期計画の策定について説明した
- ・会長が、事務局の説明について質疑を求めた
- ・会長が、A3の資料の文字が小さいため、全面に大きくしてほしいと発言した
- ・事務局は、対応すると回答した
- ・大久保委員が、4ページ表の1の訂正を求めた。健康グレードアップ長野について、現在、長野県健康増進計画と名称変更している
- ・事務局は、訂正すると回答した
- ・大久保委員が、評価項目の検討を提案した。未成年の飲酒・喫煙を評価項目に入れているが、実態を把握ができない。村の未成年者は進学に伴い実際には村外で居住している。未成年者の評価ができないのであれば項目を整理する、または評価方法を新たに考える必要があるのではないか、と意見した
- ・事務局は、大北地域の統計はあるが、村単独で把握できていない。また、学校でも飲酒や喫煙について調べているが毎年ではない。大北のデータを評価指標に入れて良いか、県の意見を聞きたいと回答した

- ・会長が、村と県で調整するよう意見した
- ・田中委員が、協議会の委員が課題を共有できるように、定期的に活動報告や意見を出し合えたら良いと意見した
- ・事務局は、計画を立てることに精一杯になっている。関係者と共有し、白馬村の目指す方向性を定めていきたいと回答した
- ・会長が、定期的に集まる機会を作ることも必要だ、事務局で検討してほしいと意見した

(3)その他

- ・工藤委員が、せっかくの機会なので意見交換をし、日頃の活動から見える白馬の課題や、困っていることを共有してはどうかと提案した
- ・柏原委員が、1歳半から20歳で一度検診が終わり、次の検診は40歳に飛んでしまうため、30代の歯科検診を提案した
- ・事務局は、20歳は進学で村にいない住民が多く、帰省した機会でない検診を受けにくい。親元を離れ生活習慣が変わった時期に検診を受けるきっかけになれば良いと思うが、対象の見直しや、30代の追加も検討していきたいと回答した
- ・増井委員が、高齢者の健康づくりの現状を知りたいと質問した
- ・事務局は、各種教室を紹介し、福祉係でガイドブックを作成中であると回答した
- ・長澤委員が、健康づくり推進員の地区活動が好評であり、今後も実行していきたいと発言した。ガイドブックを待ち望んでいる住民がいると意見した
- ・会長が、健康に関わる機会を積極的に作ってほしいと意見した
- ・横川委員が、シニアクラブの内容にスポーツだけでなく、食をテーマにした事業も作っていくことを提案した
- ・会長が、昨今のスポーツ離れに言及し、白馬の恵まれた自然を生かし、参加を促していきたいと意見した
- ・田中委員が、公民館の料理教室や村の特定健診の保健指導を行っていると言った。無関心層へのアプローチが課題である。体力測定を復活してほしいと意見した
- ・前田委員が、こどもから高齢者まで対象としたスポーツや健康に関わる教室、地域包括の事業が載ったガイドブックの作成を提案した
- ・山田委員が、今日の会議で最新の知見を得られたと言った
- ・栗田副会長が、胃がんピロリ菌検診の有用性を説明し、検診の実施について提案した
- ・事務局は、検討すると回答した

閉 会 (午後2時15分)

- ・事務局が、審議に対する感謝を述べたうえで、閉会を宣言した

検 印